

ちくしのびと

chikushinobito ⑮

いろいろな楽器の音色で織りなされるオーケストラ演奏。一つ一つの楽器がいろいろな表情を持つ中で、ひととき温かみのある、包み込むような中低音を響かせるのがチェロの特徴です。

今回ご紹介する中村充さんは、そんなチェロに幼いころから魅了された市内上古賀在住のプロチェロ奏者です。

チェロとの出会い

中村さんとチェロの出会いは4歳のとき。家族で鑑賞した、とあるコンサートがきっかけでした。演奏されていた弦楽四重奏の中で、大きな存在感を放つチェロに一目ぼれ。「チェロを触ってみたい」と言い続け、5歳からチェロを習い始めました。中学生や高校生の時は、放課後の時間をチェロの練習に注ぎました。プロのチェロ奏者

となった現在も、ほぼ毎日5時間以上の練習をし続け、演奏会の日も、演奏会終了後に自主練習を行うなど、常にチェロの演奏技術に磨きをかけています。

祖父の言葉と恩師の存在

そんな中村さんも、何度か、このままチェロを続けるべきか、迷ったそうです。そんな時に支えてくれたのは、祖父の言葉と恩師の存在でした。祖父からの「細くても良いから長く続けていきなさい」という言葉が、どんな状況でも続けることが大切なのだと思えてくれました。そして、迷える時には、優しく、そして温かく導いてくれた恩師の存在。そんな恩師と一緒に演奏することができた演奏会は、

績を収めました。

もっと上手になりたい！

現在は、響ホール室内合奏団の一員として、月に2回ほど公共施設や医療機関などさまざまな場所で演奏しています。

今後は、自身での演奏会の企画、そしてより大きなステージでの演奏を目指しているそうです。自分の演奏で筑紫野市を盛り上げていけるように頑張りたい、と語ってくれました。



Profile

平成6年生まれの28歳。福岡教育大学芸術音楽コース卒業。大学在学時は、第24回日本クラシック音楽コンクール全国5位入賞や第72回学生音楽コンクール名古屋大会3位などの成績を収める。現在は、響ホール室内合奏団のチェロ奏者として活動。

筑紫野に、音楽が

より根付くように。

チェロ奏者 中村 充 さん

これまでのチェロ奏者としての人生の中での、最もうれしかった瞬間の一つとなっています。

そうしてチェロの演奏を続けた結果、中村さんは大学在学時に、第24回日本クラシック音楽コンクール全国5位入賞や第72回学生音楽コンクール名古屋大会3位の好成績

インタビュアの最後に、「チェロとチェロの持つ魅力を、もっと多くの人に知ってもらえるように説得力のある演奏を身につけていきたいです。そのためにも、もっとチェロを上手になりたいですね」と語る中村さん。中村さんの奏でるチェロの音色は、これからも、より広く美しく響き渡りそうです。



響ホール室内合奏団で演奏する中村さん